

八重瀬町
YAESE TOWN

第2次八重瀬町総合計画

実施計画

令和8年度（令和7年度決算分）

事務事業評価

「サマーレビュー」シート

※画像はイメージです

民生部
住民環境課

【目 次】

事務事業名	ページ
国民年金事務事業	1
南斎場建設負担金	2
地球温暖化防止啓発事業（クールチョイス代替事業）	3
指定ごみ袋製造委託業務	4
一般ゴミ収集委託業務	5
ごみ処理施設整備事業費（環境省）	6
東部美化センター負担金(東部環境衛生塵芥処理費負担金)	7
島尻環境美化センター負担金(島尻環境衛生塵芥処理費負担金、島尻環境衛生し尿処理費負担金)	8
一般廃棄物最終処分場負担金	9
不法投棄未然防止事業協力	10
動物愛護団体活動支援事業補助金	11
戸籍総合システム更新事業	12
マイナンバーカード関連事業	13
自治体の情報システム標準化事業(戸籍システム分)	14
社会保障・税番号制度システム整備事業(氏名の振り仮名対応)	15

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名		戸籍・年金班			
会 計	一般会計	科 目	3	款	1	項	4	目	主な契約方法(該当のみ)	
事務事業名	国民年金事務事業									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	国民年金制度の適正な運営を図るため、各種届出・申請の受付及び相談業務を実施。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	12,748,374		14,520,178	114%	14,456,229	100%	11,476,505	79%	12,311,000	107%
	国庫支出金	円	10,561,124		11,161,452	106%	10,832,984	97%	11,476,505	106%	12,311,000	107%
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	2,187,250		3,358,726	154%	3,623,245	108%	8月実績報告			
	正規職員	人										
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
免除率	%	67.0		67.0		67.0		67.0		67.0	
		69.1		67.2		65.8		66.8		-	
	達成率	103%		100%		98%		100%			
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
八重瀬町現年度納付率	%	72.0		72.5		73.5		74.0		74.5	
		72.2		72.5		73.8		74.0		-	
	達成率	100%		100%		100%		100%			
成果説明	第1号被保険者の資格等関係届書の受付。保険料の免除申請受付や学生納付特例制度の申請受付。老齢・障害・遺族基礎年金などの相談や申請受付。住民に一番近い窓口として、国民年金制度が正しく機能するよう取り組んでいる。 ・第1被保険者数:3,845人・受給権者数:8,332人(令和6年度)・国民年金被保険者関係届書の受付:739件・国民年金保険料免除・納付猶予申請書の受付:576件・国民年金保険料学生納付特例申請書:101件・裁定請求書(老齢基礎年金等・未支給年金等)の受付:205件・相談件数:延べ1109件										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3	法令等で町の実施が義務付けされている	3	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2	今後も一定のニーズが見込まれる	2	
有効性	③成果の達成度	3	成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)	3	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3	成果に対する活動量は適正である	3	
効率性	⑤事業費の適正度	3	事業費は適正である	3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	⑥従事職員数の適正度	3	従事職員数は適正である	3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	国民年金制度に関する各種届出・申請受付及び相談業務を適正に実施し、制度の円滑な運営と住民サービスの向上に務めた。今後も適正な事務処理に務める。				
二次評価(行革本部)	本事業は、住民の社会保障を支える上で不可欠かつ妥当性の高い基盤業務です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名	環境班		
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	4	目
主な契約方法(該当のみ)	—							
事務事業名	南斎場建設負担金							

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	南斎場建設及び増炉に伴う、建設負担金。 ・南斎場建設負担金負担割合：0.1413(平成20年3月31日現在の住民登録人口にて算出) ・南斎場増炉負担金負担割合：0.1231(令和5年度火葬実績にて算出)
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト（インプット）	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
				決算	対前年 比	決算	対前年 比	決算	対前年 比	決算	対前年 比	予算	対前年 比	
	事業費	財源内訳	直接事業費	円	15,887,000		15,889,000	100%	15,935,000	100%	18,828,000	118%	16,508,000	88%
			国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
			県支出金	円	-		-		-		-		-	
			町債	円	-		-		-		-		-	
			その他	円	-		-		-		-		-	
			一般財源	円	15,887,000		15,889,000	100%	15,935,000	100%	18,828,000	118%	16,508,000	88%
	従事職員	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	
		会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-		
正規職員時間外勤務		時間	-		-		-		-					

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
	達成率					
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
	達成率					
成果説明	南斎場建設負担金を適正に負担することができた。 ○R7 建設負担金の負担内訳(全体総額) ・南斎場建設負担金:15,971,000円(全体総額:113,030,000円) ・南斎場増炉負担金:2,857,000円(全体総額:23,200,000円)					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評 価 項 目		評 価 内 容		評 価 判 定	
妥当性	①町が提供する必要性	3	法令等で町の実施が義務付けされている	3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3	十分高く、今後も増加が見込まれる	3	
有効性	③成果の達成度	3	成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)	3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3	成果に対する活動量は適正である	3	
効率性	⑤事業費の適正度	3	事業費は適正である	3	3
	⑥従事職員数の適正度	3	従事職員数は適正である	3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 3 有効性 3 A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性 有効性 3 効率性 3 A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	令和7年度の八重瀬町実績件数は339件となっており、令和6年度実績より16件減少。南斎場の運営を適正に行うようことができた。引き続き適正運営に務めていきたい。	
二次評価(行革本部)	南斎場は、住民生活に必要な不可欠な事業であり、今後の引き続き推進すべき事業です。	

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課					班(係)名			環境班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	5	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	地球温暖化防止啓発事業(クールチョイス代替事業)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	地球温暖化に対応するため、地域や個人の意識向上のための啓発事業を行う。 令和3年度までは補助事業を活用し実施していたが令和4年度からは補助事業が無くなった。 俳句コンテスト、パネル展示等一部事業を継続して実施する。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	34,000		28,000	82%	28,000	100%	27,000	96%	34,000	126%
	国庫支出金	円	—		—		—		—		—	
	県支出金	円	—		—		—		—		—	
	町債	円	—		—		—		—		—	
	その他	円	—		—		—		—		—	
	一般財源	円	34,000		28,000	82%	28,000	100%	27,000	96%	34,000	126%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	—		—		—		—		—	
	正規職員時間外勤務	時間	—		—		—		—		—	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
定量的な評価指標の設定が困難		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	達成率					
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
定量的な評価指標の設定が困難		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	達成率					
成果説明	COOL CHOICE(地球温暖化防止対策のために一人ひとりが「賢い選択」をしていこうという、国・環境省、自治体が進める取組)の一環として、COOL CHOICE俳句コンテストを実施。 R7応募総数:252名 小中学生の部:238名 成人の部:14名 俳句コンテストやパネル展を通して町民への地球温暖化防止に関する意識向上を図っている。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評 価 項 目		評 価 内 容		評 価 判 定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合評価】令和5年度の方向性】・Action(改善方)									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	俳句コンテストやパネル展を通して町民への地球温暖化防止に関する意識向上を図ることができた。								
二次評価(行革本部)	本事業は、投入コストが極めて低く、人員体制も効率的であり、限られた財源の中で啓発活動を継続できている点は評価できます。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名	環境班		
会 計	一般会計	科 目	4	款	2	項	1	目
主な契約方法(該当のみ)	一般競争入札							
事務事業名	指定ごみ袋製造委託業務							

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	ごみ減量化に伴う指定ごみ袋の製造。
---------	-------------------

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位	12,626,557		17,482,650	139%	12,467,529	71%	20,832,350	167%	20,205,000	97%
	直接事業費	円	12,626,557		17,482,650	139%	12,467,529	71%	20,832,350	167%	20,205,000	97%
	財源内訳											
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	-		-		-		-		-	
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	12,626,557		17,482,650	139%	12,467,529	71%	20,832,350	167%	20,205,000	97%
	従事職員											
	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
指定ごみ袋年間製造計画枚数 (指定ごみ袋全種類)	枚	1,390,000		1,390,000		1,200,000		1,339,000		1,158,000	
		1,390,000		1,640,000		1,392,000		2,330,000		1,158,000	
	達成率	100%		118%		116%		174%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
ごみ袋販売手数料徴収額 (指定ごみ袋全種類)	円	25,600,000		25,600,000		31,369,000		34,559,000		30,721,000	
		27,032,000		34,887,000		32,317,200		38,174,700			
	達成率	106%		136%		103%		111%		0%	
成果説明	八重瀬町指定ごみ袋を委託にて製造することにより、ごみ袋の安定供給が図られ、適正にごみ処理を行う。 ごみ袋販売手数料を徴収し、ごみ処理費用に適用する。 令和7年度製造枚数 ・燃やすごみ:大:1,512,000枚、中:581,000枚、小:150,000枚 ・燃やさないごみ:大:35,000枚、中:28,000枚、小:24,000枚 ※当初計画よりも、年度途中で、随時製造枚数の追加契約を行っているため、達成率は100%を超えている。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2	法令等の義務はないが町が直接実施すべき	2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3	十分高く、今後も増加が見込まれる	3	
有効性	③成果の達成度	3	成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)	3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3	成果に対する活動量は適正である	3	
効率性	⑤事業費の適正度	3	事業費は適正である	3	3
	⑥従事職員数の適正度	3	従事職員数は適正である	3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)	八重瀬町指定ごみ袋を委託にて製造することにより、ごみ袋の安定供給が図られ、適正なごみ処理を行うことができた。								
二次評価 (行革本部)	本事業は、町民生活に不可欠なごみ処理体制の根幹をなすものであり、その妥当性は極めて高く評価できます。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課					班(係)名		環境班		
会 計	一般会計	科 目	4	款	2	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	特命随意契約
事務事業名	一般ゴミ収集委託業務									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	八重瀬町全域の家庭ごみ収集運搬業務。
---------	--------------------

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位	69,631,200		71,625,600	103%	73,008,000	102%	75,384,000	103%	77,904,000	103%
事業費	直接事業費	円	69,631,200		71,625,600	103%	73,008,000	102%	75,384,000	103%	77,904,000	103%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	-		-		-		-		-	
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	69,631,200		71,625,600	103%	73,008,000	102%	75,384,000	103%	77,904,000	103%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
もやすごみ収集回数 週2回	日	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
事故や住民とのトラブル件数	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	件	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	達成率										
成果説明	一般家庭から出るごみの収集運搬業務を町が委託している6業者において、適正に収集運搬業務を行う。 ※日曜、5/5(こどもの日)、11/23(勤労感謝の日)、1/1~1/3(正月)及び暴風警報発令中を除く。 1,047,000円/月×12月×6事業者										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている				3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	2 事業費に見直しの余地がある				2	2
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合評価】令和5年度の方向性】・A:Good(改善力)									
事務事業の方向性	妥当性	3	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	B'	投入コストを見直して事業を継続
	有効性	3				効率性	2		
一次評価(所管課)		一般家庭から出るごみの収集運搬業務を適正に行うことができた。							
二次評価(行革本部)		本事業は、本町の住民生活に不可欠な事業であり、その妥当性は高く、今後も継続すべき事業です。							

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課					班(係)名			環境班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	2	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	ごみ処理施設整備事業費(環境省)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	新ごみ処理施設建設に伴う事務事業に要する経費 供用開始予定年度：R18 建設費予定総額：57,749,691,000円 八重瀬町負担予定総額：900,437,000円
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト（インプット）	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
				決算	対前年 比	決算	対前年 比	決算	対前年 比	決算	対前年 比	予算	対前年 比	
	事業費	財源内訳	直接事業費	円	3,775,000		3,882,000	103%	4,323,000	111%	7,232,000	167%	62,310,000	862%
			国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
			県支出金	円	-		-		-		-		-	
			町債	円	-		-		-		-		-	
			その他	円	-		-		-		-		-	
			一般財源	円	3,775,000		3,882,000	103%	4,323,000	111%	7,232,000	167%	62,310,000	862%
	従事職員	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	
		会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-		
正規職員時間外勤務		時間	-		-		-		-					

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
	達成率										
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
	達成率										
成果説明	令和6年5月、西原町小那覇へ候補地決定。 ごみ処理施設整備事業に係る計画段階環境配慮書作成など施設建設に向けて事業を進めている。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評 価 項 目		評 価 内 容		評 価 判 定		
妥 当 性	①町が提供する必要性	3	法令等で町の実施が義務付けされている	3	左記(①+②)の平均点 (小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点 があれば「1」とする	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3	十分高く、今後も増加が見込まれる	3		
有 効 性	③成果の達成度	3	成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)	3	左記(③+④)の平均点 (小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点 があれば「1」とする	3
	④成果に対する活動量 (事業の手段・取組)	3	成果に対する活動量は適正である	3		
効 率 性	⑤事業費の適正度	3	事業費は適正である	3	左記(⑤+⑥)の平均点 (小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点 があれば「1」とする	3
	⑥従事職員数の適正度	3	従事職員数は適正である	3		

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 3 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	令和6年5月、西原町小那覇へ候補地決定が決定。令和7年度はごみ処理施設整備事業に係る計画段階環境配慮書作成するなど処理施設建設に向けて各事業を予定通り遂行することができた。今後も供用開始予定年度までに完成できるよう務めていきたい。				
二次評価(行革本部)	ごみ処理施設は、住民の生活基盤を維持する上で必要不可欠な事業であり、今後の引き続き推進すべき事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課					班(係)名		環境班		
会 計	一般会計	科 目	4	款	2	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	東部美化センター負担金(東部環境衛生塵芥処理費負担金)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	ごみ処理施設運営(燃えるゴミ)、維持管理負担金。
---------	--------------------------

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	53,981,000		73,833,000	137%	71,153,000	96%	54,454,000	77%	70,876,000	130%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円	—		—		—		—		—	
		県支出金	円	—		—		—		—		—	
		町債	円	—		—		—		—		—	
		その他	円	—		—		—		—		—	
		一般財源	円	53,981,000		73,833,000	137%	71,153,000	96%	54,454,000	77%	70,876,000	130%
		正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員		会任・嘱託職員等	人	—		—		—		—		—	
		正規職員時間外勤務	時間	—		—		—		—		—	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
負担金支出割合	%	11.70	13.40	13.25	13.84	15.63					
		11.70	13.40	13.25	13.84						
	達成率	100%	100%	100%	100%	0%					
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上段:目標	上段:目標
ごみ処理量割合	%	22.37	22.43	21.95	22.23						
		22.37	22.43	21.95	22.23						
	達成率	100%	100%	100%	100%						
成果説明	構成市町のごみ処理について施設運営を適正に行うことができた。 ○R7.ごみ回収量(八重瀬町分) ・もやすごみ:7,030.54t(前年比3.16t減)										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

6.【事務事業の総合計画・令和7年度の方向性】・Action(改善方)									
事務事業の方向性	妥当性	3	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	令和7年度の八重瀬町のやすごみ処理量が7,030.54tとなっており、令和6年度処理量より3.16t減少した。構成市町のごみ処理について施設運営を適正に行う事ができた。引き続き適正運営に務めていきたい。								
二次評価(行革本部)	本事業は、八重瀬町の住民生活に不可欠なごみ処理を支える基幹事業であり、その妥当性は高く今後も継続すべき事業です。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課					班(係)名		環境班		
会 計	一般会計	科 目	4	款	2	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	島尻環境美化センター負担金(島尻環境衛生塵芥処理費負担金、島尻環境衛生し尿処理費負担金)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	①島尻美化センターの運営、維持管理負担金(燃やせないゴミ) ②清澄苑の運営、維持管理負担金(し尿処理)。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	113,402,000		116,079,000	102%	124,103,000	107%	121,898,000	98%	119,795,000	98%
	国庫支出金	円	—		—		—		—		—	
	県支出金	円	—		—		—		—		—	
	町債	円	—		—		—		—		—	
	その他	円	—		—		—		—		—	
	一般財源	円	113,402,000		116,079,000	102%	124,103,000	107%	121,898,000	98%	119,795,000	98%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	—		—		—		—		—	
	正規職員時間外勤務	時間	—		—		—		—		—	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
負担金支出割合	%	50.33		50.96		52.42		52.24		52.26	
		50.33		50.96		52.42		52.24			
	達成率	100%		100%		100%		100%		0%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
ごみ処理量割合	%	41.32		41.87		43.33		43.92			
		41.32		41.87		43.33		43.92			
	達成率	100%		100%		100%		100%			
成果説明	構成市町のごみ処理について施設運営を適正に行うことができた。 ○R7.ごみ回収量(八重瀬町分)・もやせないごみ:164.29t(前年比:3.36t減)・資源ごみ:687.89t(前年比:7.31t減) ・粗大ごみ:275.59t(前年比:25.13増) ○R7.し尿・汚泥処理量(八重瀬町分)・し尿:6.56t(前年比:9.98減)・汚泥:9,263.84t(前年比:219.02増)										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 3 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	令和7年度の八重瀬町の各種ごみ処理については、前年度より粗大ごみが増加したが、もやせないごみと資源ごみについては減少となった。し尿、汚泥については、し尿が前年度より減少となったが汚泥は増加となった。構成市町のごみ処理について施設運営を適正に行う事ができた。引き続き適正運営に務めていきたい。				
二次評価(行革本部)	本事業は、八重瀬町の住民生活に不可欠なごみ処理を支える基幹事業であり、その妥当性は高く今後も継続すべき事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課					班(係)名		環境班		
会 計	一般会計	科 目	4	款	2	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	一般廃棄物最終処分場負担金									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	①新ごみ最終処分場建設に伴う事務事業に要する経費 供用開始予定年度：R15 建設費予定総額：7,199,612,000円 八重瀬町負担予定総額：115,409,000円 ②現に稼働している一般廃棄物最終処分場【美らグリーン南城】の建設負担金・運営経費
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位	78,564,000		68,808,000	88%	62,211,000	90%	53,400,000	86%	66,248,000	124%
事業費	直接事業費	円	78,564,000		68,808,000	88%	62,211,000	90%	53,400,000	86%	66,248,000	124%
	国庫支出金	円	—		—		—		—		—	
	県支出金	円	—		—		—		—		—	
	町債	円	—		—		—		—		—	
	その他	円	—		—		—		—		—	
	一般財源	円	78,564,000		68,808,000	88%	62,211,000	90%	53,400,000	86%	66,248,000	124%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	—		—		—		—		—	
	正規職員時間外勤務	時間	—		—		—		—		—	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
	達成率					
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
	達成率					
成果説明	①ごみ最終処分場については八重瀬町「新城・具志頭地区」が建設候補地として決定されたことにより、施設建設に向けて事業を進めている。 ②令和7年度全埋立量 5,003.46t(前年比:516.83t)					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 3 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	ごみ最終処分場建設地については「新城・具志頭地区」が候補地として決定され、最終処分場建設に向けて各事業を予定通り遂行することができた。令和7年度の最終処分場の埋立量は5,003.46tとなっており、令和6年度埋立量より516.83t減少した。各処理施設から出る焼却灰について、施設運営を適正に行う事ができた。引き続き適正運営に務めていきたい。				
二次評価(行革本部)	ごみ最終処分場建設は、住民の生活基盤を維持する上で必要不可欠な事業であり、今後の引き続き推進すべき事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名	環境班	
会 計	一般会計	科 目	4 款	2 項	1 目	主な契約方法(該当のみ)	特命随意契約
事務事業名	不法投棄未然防止事業協力						

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	不法投棄の未然防止に係る巡回パトロール、不法投棄回収、看板設置等の業務を行っている。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	1,166,880		1,277,650	110%	1,336,608	105%	1,349,712	101%	717,000	53%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	-		-		-		-		-	
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	1,166,880		1,277,650	110%	1,336,608	105%	1,349,712	101%	717,000	53%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
パトロール実施回数年間	日	103	102	102	102	51
		103	102	102	102	51
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
特定廃家電不法投棄回収件数	件	77	33	33	32	30
		45	32	28	31	
	達成率	58%	97%	85%	97%	0%
成果説明	不法投棄重点地域に対し看板設置や町シルバー人材センタへ委託して週2回の巡回パトロールやごみの回収を行い、不法投棄ごみの減少に務める。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	不法投棄重点地域に対し看板を10基設置し、町シルバー人材センタへ委託して週2回の巡回パトロールや回収を行い、不法投棄ごみの減少に務めた。				
二次評価(行革本部)	本事業は、本町の住民の生活環境保全と景観維持にとって不可欠なごみ対策の一環であり、今後も継続すべき事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名	環境班		
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	4	目
主な契約方法(該当のみ)	—							
事務事業名	動物愛護団体活動支援事業補助金							

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町内での猫の保護やさくら猫活動（不妊去勢手術）や動物愛護について普及啓発を行っている。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	6,000,000		8,000,000	133%	5,500,000	69%	5,500,000	100%	6,000,000	109%
	国庫支出金	円	—		—		—		—		—	
	県支出金	円	—		—		—		—		—	
	町債	円	—		—		—		—		—	
	その他	円	—		—		—		—		—	
	一般財源	円	6,000,000		8,000,000	133%	5,500,000	69%	5,500,000	100%	6,000,000	109%
	従事職員	人	—		—		—		—		—	
従事職員	会任・嘱託職員等	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	正規職員時間外勤務	時間	—		—		—		—		—	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
保護猫(予防検査、治療費)	匹	60	60	60	60	60
		—	92	112	217	—
	達成率		153%	187%	362%	0%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
TNR実施件数	件	50	50	50	50	50
		81	54	52	50	—
	達成率	162%	108%	104%	100%	0%
成果説明	八重瀬町内で動物保護活動を行う動物愛護団体へ補助金を交付している。TNR(捕獲、不妊・去勢手術、原場所への返還)活動を実施し、さらに保護猫のケアや譲渡支援に努めている。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	2 成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30～69%)		2	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	2 活動量を見直せば成果達成の余地がある		2	
効率性	⑤事業費の適正度	2 事業費に見直しの余地がある		2	2
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 2	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 2 効率性 2	B' 投入コストを見直して事業を継続
一次評価(所管課)	令和7年度には不妊手術60件、譲渡80件を実施し一定の成果があった。一部負担集中や住民理解不足が課題となっている。				
二次評価(行幸本部)	本事業は、本町の住民生活環境の向上と動物福祉の推進にとって必要な事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名	戸籍・年金班	
会 計	一般会計	科 目	2 款	3 項	1 目	主な契約方法(該当のみ)	特命随意契約
事務事業名	戸籍総合システム更新事業						

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	システムの安定運用及びセキュリティ維持のため、運用している戸籍総合システムの機器を新たな機器に更改する。※戸籍システムのクラウド化(5年契約)
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
	直接事業費	円	5,174,400		6,507,380	126%	12,790,800	197%	12,790,800	100%	12,790,800	100%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	5,174,400		6,507,380	126%	12,790,800	197%	12,790,800	100%	12,790,800	100%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
システムの年間稼働率	日	365		366		365		365		365	
		365		366		365		365			
	達成率	100%		100%		100%		100%		0%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
届書受理件数	件	1,959		1,852		1,720		1,897		1,910	
		1,852		1,720		1,897		1,910			
	達成率	95%		93%		110%		101%		0%	
成果説明	戸籍総合システムをクラウド化して利用することで、専用設備(サーバー等)を持たずにデータバックアップ作業等は締結したシステム業者が管理することになった。毎日職員が行っていたバックアップ作業をすることなく、データ保存が行われ、事務負担が軽減された。 また、戸籍事務システムを利用することで国のサーバーと連結され、国及び他市町村との連携事務が行えた。 【本籍人口数:37,236人】【本籍数:14,351件】※令和8年3月31日現在 【届書受理件数】1,910件 ・窓口 1,160件 本籍:832件、非本籍:328件 ・通知750件										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	令和6年2月にクラウド化され、事務負担が軽減された。戸籍総合システムは戸籍業務を行っていくうえで不可欠なシステムとなっているため、今後も継続して更改していく。				
二次評価(行革本部)	本事業は、本町の戸籍事務という行政サービスを支える基盤整備であり、その妥当性は高く、継続すべき事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課					班(係)名		住民班	
会 計	一般会計	科 目	2	款	3	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	マイナンバーカード関連事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町内のマイナンバーカード普及促進を行う事業。 マイナンバーカード交付事務に伴う市町村の実施事務に必要な経費（職員手当等、共済費、通信運搬費等）は国庫補助対象となる。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	23,778,254		21,422,675	90%	18,569,167	87%	21,622,587	116%	28,901,000	134%
	国庫支出金	円	22,474,000		19,970,000	89%	18,380,000	92%	21,519,000	117%	28,583,000	133%
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	1,304,254		1,452,675	111%	189,167	13%	103,587	55%	318,000	307%
	従事職員	人	2		2	100%	2	100%	2	100%	2	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	13		6	46%	5	83%	7	140%	7	100%
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
マイナンバーカード申請・交付対応、出張申請等の普及促進	日	365		366		365		365		365	
		365		366		365		365			
	達成率	100%		100%		100%		100%		0%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
マイナンバーカード保有枚数(毎年度3月末時点)	枚	-		21,000		23,000		25,000		26,500	
		-		21,413		23,456		25,173			
	達成率			102%		102%		101%		0%	
成果説明	カード交付事務に従事する会計年度任用職員の人件費等国庫補助対象となっており、窓口の混雑緩和、積極的な出張申請実施、広報活動等を通じて、マイナンバーカードの交付、普及促進に取り組むことができた。 マイナンバーカード保有率(令和8年3月末) 八重瀬町: 75.7% 沖縄県平均: 71.8%										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C.【事務事業の総合評価（令和5年度の方針性）】・A400（改善力）									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進（拡大含む）	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進（拡大含む）
	有効性	3				効率性	3		
一次評価（所管課）	本町のマイナンバーカード普及率は県内の中でも高い水準にあり、マイナンバーカード関連業務が増加傾向にある。適切な人員（会計年度任用職員）配置により、窓口対応、出張申請業務等、積極的に取り組むことができた。引き続きマイナンバーカード普及に向けて取り組んでいきたい。								
二次評価（行革本部）	本事業は、国の重要政策であり、住民サービスの利便性の向上に不可欠な事業であり、今後も継続すべき事業です。本町のマイナンバーカード保有率が沖縄県平均を上回っていることは、事業推進の努力の成果として評価できます。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名	戸籍・年金班	
会 計	一般会計	科 目	2 款	3 項	1 目	主な契約方法(該当のみ)	特命随意契約
事務事業名	自治体の情報システム標準化事業(戸籍システム分)						

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	戸籍システムについて国の策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行する。標準化に伴いコスト削減や事務の効率化を図る。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		2,112,000		8,536,000	404%	1,518,000	18%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円					2,112,000		8,536,000	404%	1,518,000	18%
	一般財源	円										
	正規職員	人					1		1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
戸籍システム標準仕様への準拠進捗率	%							100		100	
								80			
	達成率							80%		0%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
戸籍システム標準仕様への戸籍情報等の移行進捗率	%							100			
								100			
	達成率							100%			
成果説明	戸籍システムについて、一部を除き、標準仕様に準拠したシステムへ移行できた。今後は全国的に標準準拠したシステムを利用していくことにより、ベンダ間の競争が生まれ、価格競争が進んでいくものと推測される。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている				3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 3 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	令和7年度中でシステムの大部分が標準準拠システムへの移行が行われたが、大きなトラブルもなく移行することができた。				
二次評価(行革本部)	本事業は、行政サービスの基盤を安定化・効率化する上で不可欠な事業であり、今後も継続すべき事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 住民環境課				班(係)名	戸籍・年金	
会 計	一般会計	科 目	2 款	3 項	1 目	主な契約方法(該当のみ)	特命随意契約
事務事業名	社会保障・税番号制度システム整備事業(氏名の振り仮名対応)						

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	社会保障・税番号制度において、氏名の振り仮名記載が法制化にされたことに伴い、関係システムの改修、氏名の振り仮名の通知を行う。これにより、氏名の読み仮名情報が戸籍、住民票、マイナンバーカード等に正確に共有・利用できるようにする。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		4,521,000		7,961,970	176%	-	0%
	国庫支出金	円					4,521,000		6,943,000	154%	-	0%
	県支出金	円					-		-		-	
	町債	円					-		-		-	
	その他	円					-		-		-	
	一般財源	円					-		1,018,970		-	0%
	正職員	人					2		2	100%	2	100%
	会任・嘱託職員等	人					-		1		-	0%
	正職員時間外勤務	時間					10		15	150%		0%

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
振り仮名通知はがき発送件数	件				18,376	
					18,177	
	達成率				99%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
	達成率					
成果説明	氏名の振り仮名の通知書印刷・発送、振り仮名制度に合わせたシステムの改修、窓口やマイナポータルを利用したオンラインでの振り仮名の届の受付を実施。氏名の読み仮名情報が戸籍、住民票、マイナンバーカード等に正確に共有・利用できるようになり、行政手続きの効率化、町民の利便性の向上につながった。10月下旬に戸籍に振り仮名を記載する一括処理を行うため、現時点で成果評価指標は空欄としている。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合計画「令和5年度の方針性」・Action(改善)】									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	令和7年度中にシステム改修、通知書の印刷発送等を実施。大きなトラブルもなく改修や通知を完了できた。制度に関連する業務は令和8年度中に完了予定だが、令和8年度は事業費に関する予算措置なし。								
二次評価(行革本部)	本事業は、マイナンバー制度の正確な運用を確保する上で不可欠な事業と判断できます。								